

伊野の幸福論を考える 伊野小6年生がまちづくり提案



▲児童の提案に耳を傾ける地域住民

伊野の食材を使ったグルメで伊野祭　フリーペーパーで伊野の魅力発信
スポ・レクで子どもと高齢者交流　オリエンテーリングや農業体験で交流
人口拡大

「伊野の将来はどうあってほしいか、そのためにどのような取組ができるか」を学習した伊野小6年生(5人)が、2月16日、伊野コミュニティセンターで地域住民を前に具体的な取組を提案した。平日にもかかわらず地区内外から50人余が参加し、子どもたちの提案に頷いていた。「自分が小学校時代には考えられないすばらしい発表だった」「提案を実現するためにこれからも伊野のまちづくりに関わってほしい」など、たくさんの感想が述べられ、会場は熱気に包まれた。